

## 各種止血方法による止血圧力及び上腕動脈血流量の検討

博樹会 西クリニック

○田口幸雄（タギチ 素材） 渡辺信行 西 隆博 西 忠博

### 【緒言】

止血方法には、手指による止血方法と止血器具を使用した止血方法がある。今回、手指による止血方法と止血バンドおよびM字型止血クランプの止血圧力及び上腕動脈血流量を比較検討したので報告する。

### 【対象および方法】

手指による止血と止血バンドおよびM字型止血クランプによる止血時の止血圧力を携帯型接触圧力測定装置パームQ（ケーブ社製）にて測定。手指およびM字型止血クランプは、穿刺部の圧迫圧力、止血バンドは、穿刺部の駆血圧力を測定した。上腕動脈血流量は、コンパクトエコーSonosite180Ⅱ（Sonosite Japan社製）、ドップラー流量計DVM-4200（HADEC O社製）を使用し測定した。

### 【結果】

手指およびM字型止血クランプの止血圧力は約100mmHg、止血バンドによる止血圧力は、約40mmHgであった。上腕動脈血流量は、それぞれの止血方法にて約20%程度の減少が見られた。

### 【考察】

今回の検討では、M字型クランプも止血バンドも内シャントに与える影響は少ないが、過度の圧迫に注意して使用することが望ましい。